

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

結果の概要

1 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況（第1表）

令和6年の青森県の漁獲数量は11万7,701トンで、前年に比べ1,054トン（0.9%）増加した。前年と比較して増加した主な要因は、「まいわし」、「さば」の漁獲数量が増加したため。

漁獲金額は340億6,105万円で、前年に比べ30億7,266万円（8.3%）減少した。前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい」の漁獲金額が減少したため。

(2) 過去5年間の平均との比較（第2表）

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では3万2,640トン（21.7%）減少し、漁獲金額では29億5,422万円（8.0%）減少した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」（漁獲数量対平年比193.6%）、「にじます」（175.6%）等であった。

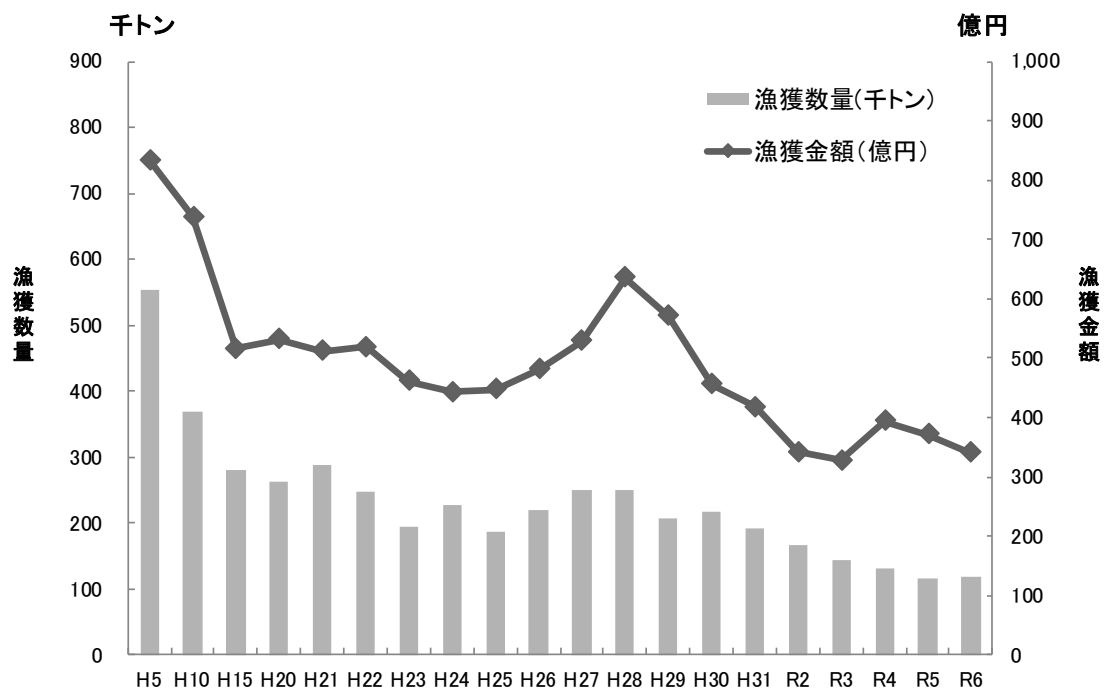
一方、漁獲が低調であった魚種は「ほたてがい」（39.9%）、「するめいか」（62.6%）等であった。

(3) 過去10年間の平均との比較（表、図1）

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では7万1,599トン（37.8%）減少し、漁獲金額では1,116万円（24.7%）減少した。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

| 年次 | 漁 獲 数 量 | | 漁 獲 金 額 | |
|-------------------------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 数量(トン) | 対前年増減率(%) | 金額(百万円) | 対前年増減率(%) |
| 平成5年 | 554,744 | | 83,347 | |
| 平成10年 | 368,219 | | 73,875 | |
| 平成15年 | 280,518 | | 51,655 | |
| 平成20年 | 261,354 | | 53,171 | |
| 平成25年 | 185,855 | | 44,660 | |
| 平成26年 | 218,644 | 17.6 | 48,024 | 7.5 |
| 平成27年 | 250,029 | 14.4 | 52,928 | 10.2 |
| 平成28年 | 249,653 | △ 0.2 | 63,530 | 20.0 |
| 平成29年 | 206,250 | △ 17.4 | 57,104 | △ 10.1 |
| 平成30年 | 216,718 | 5.1 | 45,546 | △ 20.2 |
| 平成31年 | 191,322 | △ 11.7 | 41,723 | △ 8.4 |
| 令和2年 | 167,188 | △ 12.6 | 34,183 | △ 18.1 |
| 令和3年 | 144,610 | △ 13.5 | 32,751 | △ 4.2 |
| 令和4年 | 131,937 | △ 8.8 | 39,285 | 20.0 |
| 令和5年 | 116,647 | △ 11.6 | 37,134 | △ 5.5 |
| 令和6年 | 117,701 | 0.9 | 34,061 | △ 8.3 |
| 平成26年～令和5年 までの平均 (A) | 189,300 | | 45,221 | |
| 令和6年／(A)% | 62.2 % | | 75.3 % | |



2 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量 (図2、第3表)

令和6年の漁獲数量を月別にみると、6月が3万5,134トンで最も多く全体の29.9%を占め、次いで7月の1万8,417トン(15.6%)、5月の1万2,652トン(10.7%)となっている。

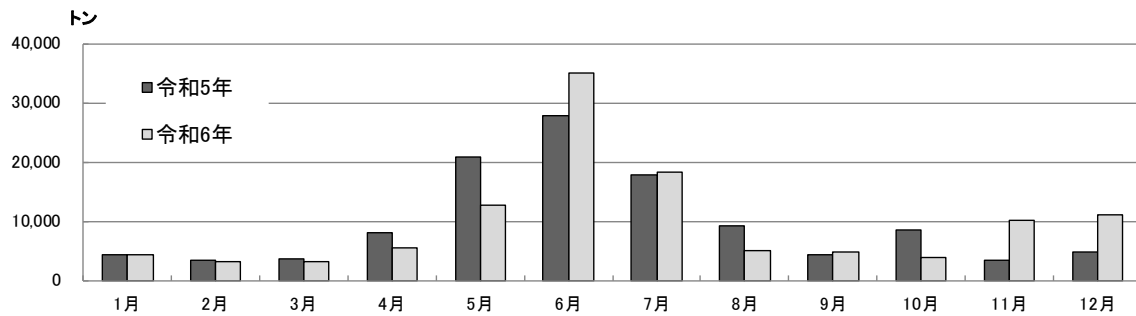


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額 (図3、第4表)

令和6年の漁獲金額を月別にみると、6月が63億3,017万円で最も多く全体の18.6%を占め、次いで7月の37億4,072万円(11.0%)、5月の36億5,881万円(10.7%)となっている。

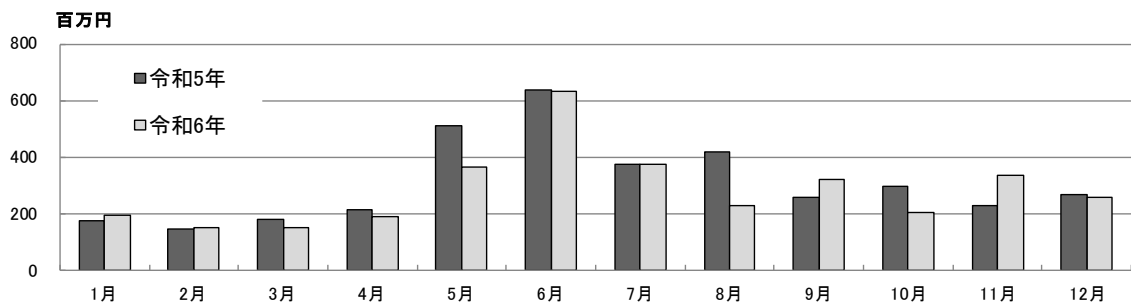


図3 月別漁獲金額

3 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

① 分類別漁獲数量 (図4、第5表)

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、まいわし等の「魚類」が7万2,887トンで最も多く、全体の61.9%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」3万1,896トン(27.1%)、「その他の水産動物」1万1,777トン(10.0%)、「藻類」1,141トン(1.0%)となっている。

前年と比較すると、「魚類」は2万6,030トン(55.6%)増加、「貝類」は2万5,259トン(44.2%)減少、「その他の水産動物」は1,302トン(12.4%)増加、「藻類」は1,018トン(47.2%)減少した。

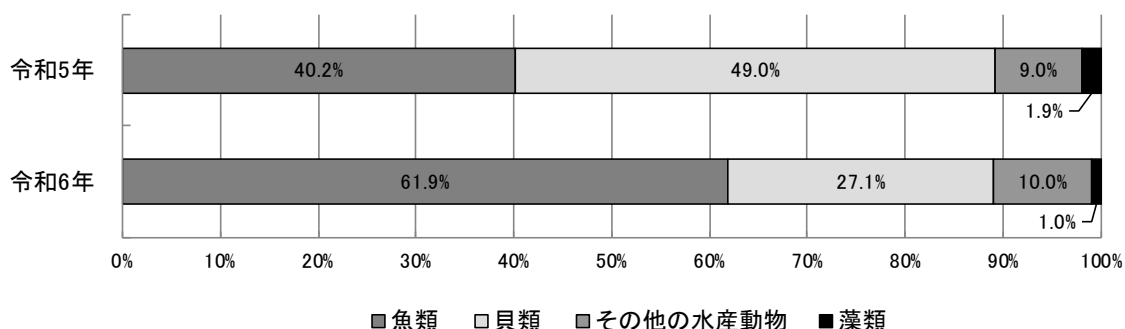


図4 分類別漁獲数量の構成比

② 分類別漁獲金額 (図5、第6表)

漁獲金額を分類別にみると、「魚類」が131億2,524万円で最も多く全体の38.5%を占め、次いで「その他の水産動物」117億8,303万円(34.6%)、「貝類」86億2,817万円(25.3%)、「藻類」5億2,460万円(1.5%)となっている。

前年と比較すると、「魚類」は19億8,236万円(17.8%)増加、「貝類」は51億7,071万円(37.5%)減少、「その他の水産動物」は2億6,255万円(2.3%)増加し、「藻類」は1億4,686万円(21.9%)減少した。

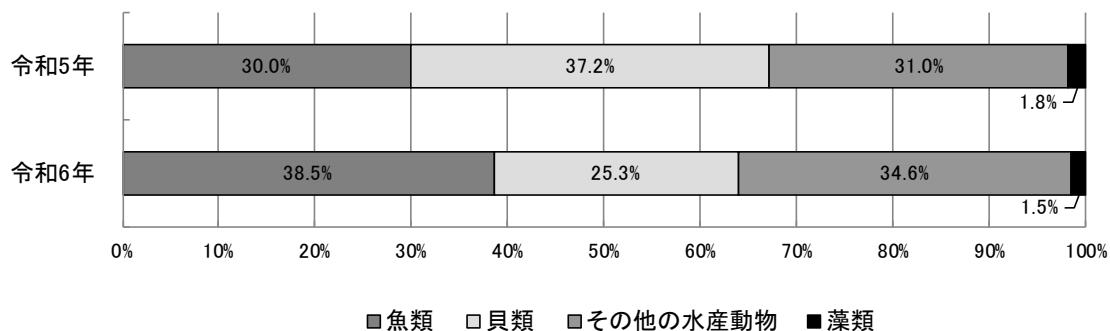


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

① 主な魚種別漁獲数量 (図6、第7表)

主な魚種別の漁獲数量をみると、「いわし類」が4万1,376トンで最も多く、全体の35.2%を占め、次いで「ほたてがい」3万1,326トン(26.6%)、「さば」1万76トン(8.6%)、「たら」5,142トン(4.4%)、「するめいか」4,973トン(4.2%)、「あかいか」3,399トン(2.9%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加した魚種は「いわし類」のうちの「まいわし」で、1万8,693トン(84.7%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した魚種は「ほたてがい」で、2万5,219トン(44.6%)減少した。

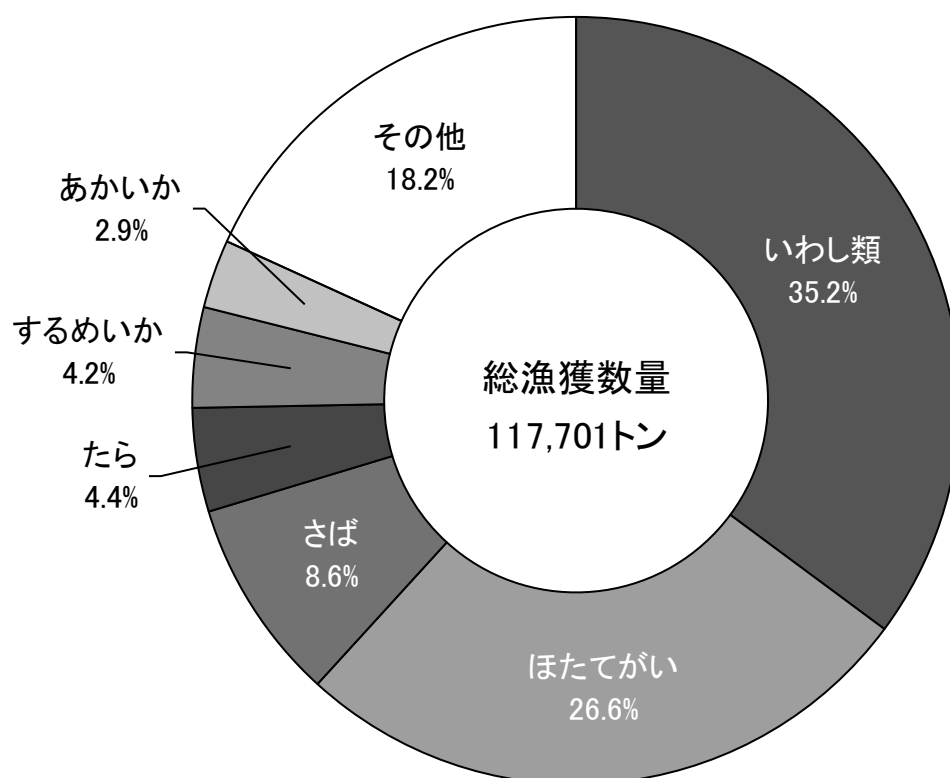


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

② 主な魚種別漁獲金額（図7、第1表、第8表）

主な魚種別の漁獲金額をみると、「ほたてがい」が82億1,757万円で最も多く、全体の24.1%、次いで「するめいか」46億687万円（13.5%）、「まぐろ」24億5,491万円（7.2%）、「なまこ」22億5,232万円（6.6%）、「あかいか」22億3,189万円（6.6%）、「いわし類」22億1,780万円（6.5%）となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した魚種は「いわし類」のうちの「まいわし」で、8億6,877万円（65.7%）増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した魚種は「ほたてがい」で、51億8,553万円（38.7%）減少した。

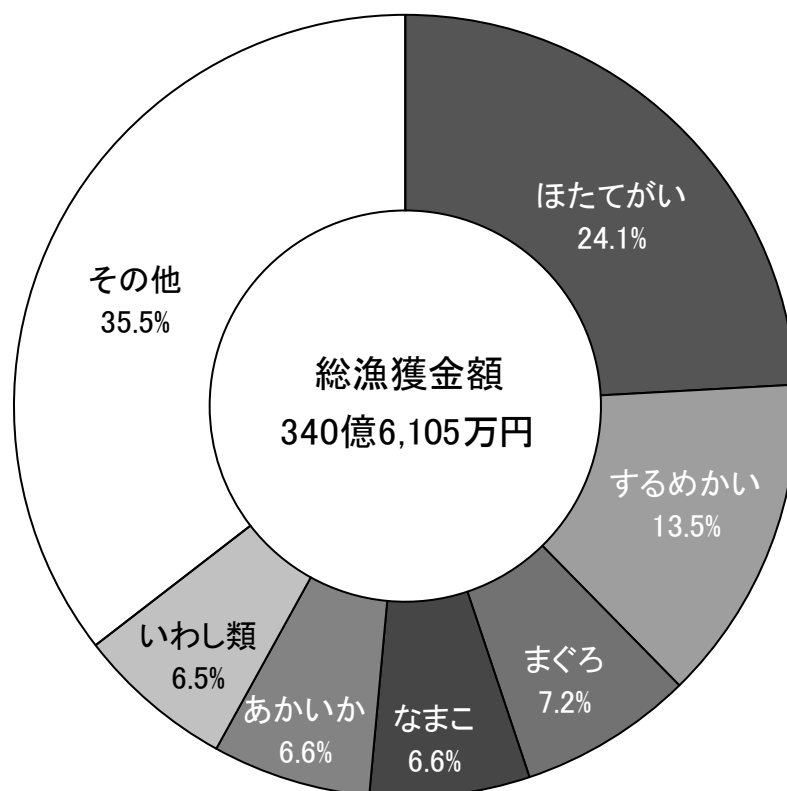


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量 (第9表)

漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「まき網漁業」が4万7,510トンで最も多く、全体の40.4%で、次いで「養殖業」3万3,707トン(28.6%)、「沖合底曳網漁業」8,700トン(7.4%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加した漁業種類は「まき網漁業」で、2万4,930トン(110.4%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した漁業種類は、「養殖業」で2万3,930トン(41.5%)減少した。

(2) 漁業種類別漁獲金額 (第10表)

漁業種類別の漁獲金額をみると、「養殖業」が94億8,334万円で最も多く全体の27.8%を占め、次いで「いか釣漁業」41億2,163万円(12.1%)、「沖合底曳網漁業」36億1,434万円(10.6%)となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した漁業種類は「まき網漁業」で、17億4,160万円(108.1%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した漁業種類は「養殖業」で、46億2,613万円(32.8%)減少した。

5 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量 (図8、第11表)

市町村別漁獲数量をみると、八戸市が6万4,296トンで最も多く、全体の54.6%を占め、次いで平内町10.3%、外ヶ浜町9.3%、むつ市4.8%、深浦町3.8%の順となっている。

前年と比較して、最も漁獲数量が増加したのは、八戸市で2万7,036トン(72.6%)増加した。

一方、最も漁獲数量が減少した市町村は、平内町で1万8,604トン(60.5%)減少した。

(2) 市町村別漁獲金額 (図9、第12表)

市町村別漁獲金額をみると、八戸市が116億9,735万円で最も多く、全体の34.3%を占め、次いで平内町12.0%、外ヶ浜町9.2%、むつ市8.2%、大間町5.9%の順となっている。

前年と比較して、最も漁獲金額が増加した市町村は、八戸市で17億5,290万円(17.6%)増加した。

一方、最も漁獲金額が減少した市町村は、平内町で39億5,454万円(49.1%)減少した。

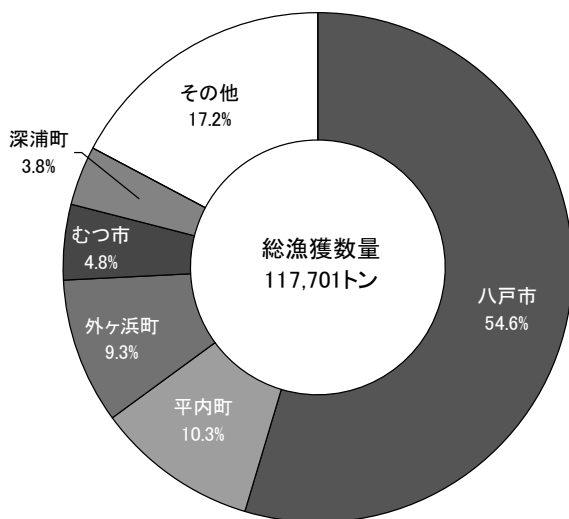


図8 市町村別漁獲数量の構成比

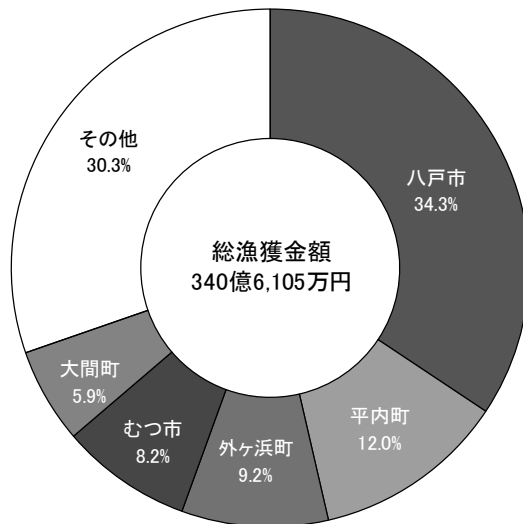


図9 市町村別漁獲金額の構成比